



病院だより



令和5年4月1日 発行: 公立福生病院 経営企画課 経営企画係 住所: 東京都福生市加美平 1-6-1 <https://www.fussahp.jp>

脊椎・関節センターのご案内

整形外科が扱う範囲は四肢・脊椎を中心とした運動器全般であり、その病態・治療は多岐にわたります。当院整形外科では上肢・下肢・脊椎の専門医を揃え、整形外科が担う広大な範囲をカバーしていますが、なかでもそれぞれの医師が専門とする分野に特化した特殊外来をセンターとして設け、より専門性を要する患者さんの診療・手術にあたっています。各センターの外来は完全予約制で、精密検査、治療方針の相談、手術の説明などを行い、必要な場合には入院・手術へと向かいます。



脊椎センター

脊椎センターでは、首から腰までの脊椎に生じる様々な疾患・外傷の診断・治療を担っています。多くの方が首や腰などの脊椎周囲に痛みなどの愁訴をかかえていますが、その多くは投薬や運動療法などで症状の改善が期待できるものです。しかし一部には骨折・腫瘍・感染・神経圧迫など「放っておけない重篤な病態」が隠れており、専門性の高い手術が必要になる場合があります。手術は頸椎から腰仙椎までの前方・後方手術ほぼ全般に対応可能であり、それぞれの患者さんの病態に合わせて最適な手術方法を提案させていただきます。

股関節センター

股関節センターでは股関節疾患の診断・治療を行っており、なかでも加齢やリウマチによる股関節痛・変形に対して人工股関節置換術(THA)を多く施行しています。従来の一般的なTHAは、筋肉を切って進入し置換術を行う方法ですが、当院では最小侵襲手術である前方進入法(DAA)により人工股関節置換術を行っています。この方法は筋肉を切らないので、筋力低下が少なく、術後回復が早く、脱臼しにくいという利点があります。術後の姿勢・活動制限は一切不要で、入院期間も7-14日であり、ほとんどの方が早期に退院出来ています。

肩関節センター

肩関節は、構造が複雑で疾患の診断が難しい関節といわれ、適切な診断と治療にはより高い専門性が必要です。その治療は投薬・注射・リハビリなどの保存療法がメインですが、治療経過によっては手術を提案させていただきます。腱板縫合術や脱臼制動術などの手術は、関節鏡による低侵襲手術を基本としています。従来の切開手術に比べて関節鏡手術ではより細かな障害も治療することが可能であり、術後の痛みは軽く、早期回復が期待できます。また、ライセンスが必要なリバース型を含めて人工肩関節置換術を積極的に施行しています。



文責 診療部部長 整形外科 池上 健 医師

公立福生病院経営強化プランの策定について

令和4年3月に総務省が示した「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、公立福生病院経営強化プラン策定委員会で前回のプランの評価と現状分析(内部・外部環境分析)を行い、令和9年度までの病院経営を強化する計画としての「公立福生病院経営強化プラン」を策定いたしました。

プランの概要

1.役割・機能の最適化と連携の強化

(1)地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たす役割・機能

○西多摩保健医療圏は、高度急性期病床、回復期病床の不足が見込まれています。新型コロナウイルス感染症(以下、「COVID-19」という。)の流行により、現時点では動向を推測することは困難であることから、病床数及び保有機能についての変更は行わず地域医療を担っていきます。

○地域医療機関及び患者アンケートの結果と、現在の取り組み状況を踏まえ、当院が果たすべき役割として「2次救急患者を断らない医療機関」「急性期からポストアキュート(*1)まで途切れのない連携を行う医療機関」「がん診療対応医療機関」の3点を掲げ、地域医療の貢献に努めます。

(*1)ポストアキュート:急性期経過後に引き続き入院医療を要する状態。

(2)機能分化・連携強化

○当院は急性期医療から回復期医療(地域包括ケア病棟)を提供し、当院で対応できない3次救急や高度急性期医療は近隣の高度医療提供機関と連携し地域医療を支えています。

○病院の再編・ネットワーク化計画については、当院では今後の医療圏の各公立病院で高額医療機器の共同利用や共同購入の可能性について模索します。

(3)医療機能等指標に係る数値目標

指標	実績	見込み	目標				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
常勤医師数	60人	60人	62人	63人	63人	63人	63人
救急車搬送件数	2,605人	3,000人	3,150人	3,308人	3,473人	3,577人	3,684人
紹介率	45.3%	37.6%	50.0%	55.0%	60.0%	65.0%	70.0%
逆紹介率	27.2%	29.5%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%
患者満足度(入院)	96.3%	98.0%	98.0%	98.1%	98.2%	98.3%	98.4%
患者満足度(外来)	83.9%	95.1%	95.1%	95.2%	95.3%	95.4%	95.5%

(4)一般会計負担金の考え方

○経費削減や収益確保等により、独立採算制及び持続可能な病院経営を目指します。

(5)住民の理解のための取組

○患者満足度アンケート等を通じて引き続きご意見をいただき、病院だよりや市民公開講座、病院ホームページでの住民の皆様への様々な情報発信を継続して行い、公立病院として住民の皆様信頼される病院を目指します。

2.医師・看護師等の確保と働き方改革

○大学医局との良好な関係構築に努めると同時に臨床研修医の積極的な受け入れ、また紹介業者等を通して医師確保を図っていきます。看護師の確保は、直接採用や実習受け入れ先へのパンフレット送付、説明会への参加を通して当院の良さを理解していただき、確保に努めていきます。

○医師看護師負担軽減計画を策定し毎年評価と進捗管理を行い、他職種へのタスク・シフト/シェアなどを進めることで働き方改革に対応していきます。

3.経営形態の見直し

○地方公営企業法の全部適用に移行した効果等についての検証を行い他の経営形態への見直しを改めて検討していきます。

4.新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

○院内感染対策指針に基づき、感染防護具等の備蓄や院内感染症対策の継続及び感染管理に関する人材育成を継続しつつ、感染拡大時に柔軟な対応ができるよう努めます。

5.施設・設備の最適化

- 「(仮称)公立福生病院インフラ長寿命化計画」を策定し、事後保全から予防保全への施設管理を進め、病院機能の保持、修繕費用の抑制、平準化を図り、安全、安心に利用できる施設維持管理を行います。
- 医療の質向上や医療情報の連携、患者満足度向上、院内全体の働き方改革などを目的に院内のデジタル、AI技術への対応を進めると同時に、サイバー攻撃などへの対策を強化していきます。

6. 経営の効率化等

(1)経営指標に係る数値目標

- 今後のCOVID-19の終息を見込むことは現時点では困難であり、令和5(2023)年度まではCOVID-19の補助金を見込む(半年分)ことを前提とし、それ以降は補助金を見込まず、病床利用率の向上を目指し、令和9(2027)年度に経常収支比率の黒字化を目指します。

指標	実績	見込み	目標				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
経常収支比率	127.3%	106.0%	102.4%	94.7%	97.0%	98.3%	100.2%
医業収支比率	81.7%	87.4%	86.2%	88.4%	91.1%	92.7%	94.9%
修正医業収支比率	77.3%	83.8%	83.1%	85.4%	88.0%	89.7%	91.9%
病床利用率(急性期病棟)	54.8%	55.5%	65.9%	70.0%	73.3%	76.6%	80.0%
病床利用率(地域包括ケア病棟)	61.6%	66.6%	77.3%	80.0%	83.3%	86.6%	90.0%
職員給与費対医業収益比率	65.7%	59.9%	60.1%	57.8%	56.1%	54.4%	52.6%
医療材料費対医業収益比率	23.5%	23.4%	23.0%	23.5%	23.5%	23.5%	23.5%

(2)目標達成に向けた具体的な取り組み

取組事項	具体的な内容
常勤医師の確保	これまでと同様に、院長や医局出身の各診療科部長による関係医局への積極的な働き掛けと、紹介業者等に対し当院の必要とする医師の適切な情報の提供に加え、臨床研修医の積極的な受け入れによる医師確保に努めます。
急性期患者の確保と回復期機能病棟(地域包括ケア病棟)の活用	診療報酬改定による算定要件・施設基準の変更に適応しながら、現在届け出を行っている入院料算定を継続します。急性期患者の確保については医師の確保、救急車受入数向上、広報活動の強化、健診利用者の外来受診勧奨を通して、病院一丸となって進めます。
紹介受診重点医療機関	当院が医療圏で急性期病院としての役割を全うするため、紹介受診重点医療機関となることを目指します。
職員の生産性向上	該当部門のみではなく多職種連携(チーム医療の推進)を通して各加算・指導料等の算定件数増加に努めます。
救急車受入数の向上	医療圏で当院が果たすべき救急医療を充実させるべく、令和5(2023)年度を目標に救急科の創設を進めます。
経費削減	医療機器の保守を含めた委託業務の見直し、材料の使用状況の実態把握と購入費削減、医療機器の価格交渉やシングルユース材料の見直しを年1回程度実行し、経費削減に努めます。また、節電による光熱費抑制を図っていきます。
診療報酬改定への対応	診療報酬改定に関する情報収集に努め、新規加算等についていち早く届出ができるよう院内体制を整えます。
健診利用者の外来受診への勧奨	2次健診が必要な健診受診者に対して医療機関受診を進める取り組みを実施します。当院内でもスムーズな連携が取れるよう外来の診療体制を整理します。
広報活動の強化	構成市町と協力し、広報誌やケーブルテレビ、ホームページ、市民公開講座等を用いた病院の役割等を発信する体制を整えます。
地域連携の強化	質の高い医療連携を目的に診療科毎のパンフレットの作成や定期的な医療機関への訪問を通して細やかな情報共有を行っていきます。
職員の人材育成	患者満足度の向上及び職員のモチベーションアップを図るため、職員の資格取得計画の作成及び各種手当の見直しを検討します。 人事評価と給与体系を連動させ、職員の貢献度や能力を適切に評価する仕組みを整えることで職員の成長を促します。
未収金対策	地域の医療を守り、病院経営を安定化させるために未収金対策に取り組みます。分納誓約や法的措置、訪問徴収についても院内で体制を整備します。

点検・評価・公表

- 本プランにおいて設定した各種指標の達成状況は、各年度の進捗管理の中で点検し、評価を行います。
- 評価にあたっては、外部の委員で構成される公立福生病院経営強化プラン評価委員会を毎年開催し、当該年度における本プランの進捗状況を報告するとともに、その取組状況について当該委員会において点検及び評価します。また、点検及び評価の結果については、ホームページで公表します。

＜院外処方箋への検査値の表示について＞

令和5年2月20日から、地域の保険調剤薬局と連携し外来患者さんへ適切な薬物治療を提供することを目的として、院外処方箋に一部の血液検査結果を表示することになりました。また、院外処方箋の印刷サイズがA5縦からA4横に変更となりました。

（院外処方箋のイメージ）

院外処方箋 (この処方箋は、どの薬局でも有効です。)

患者さんへ

- この院外処方箋を保険調剤薬局にご提出ください。
- 処方箋の有効期限は交付日を含めて4日間（土日祝日含む）です。使用期限を過ぎた場合、お薬を受け取ることができません。
- 処方箋の再発行はできません。紛失された場合、期限が切れた場合は再受診が必要となり費用負担が生じます。
- 身体情報や検査値は、薬の適正使用（量調節や副作用の早期発見など）に活用し、より質の高い医療提供につなげる目的で表示しております。
- 可能な限り保険薬局薬剤師へご提示ください。
- 保険調剤薬局へ身体情報や検査値などの情報は用紙の点線部分で切り離し、左側に貼ってください。

●保険調剤薬局へ連絡事項

情報提供欄(本紙右半分)は患者様の任意提出となります。ご理解ご高配よろしくお願い申し上げます。

【身体情報】

身長	150.0cm	体重	55.000kg	体表面積	1.492㎡
測定日	2019/03/20	測定日	2022/10/02		

【検査情報】

検査項目	検査日	結果値	検査項目	検査日	結果値
WBC	2022/12/01	78	CK	2022/12/01	20
HbG	2022/12/01	14.3	TG	2022/12/01	215
PLT	2022/12/01	13.2	LDL	2022/12/01	124
CRP	2022/12/01	0.22	UA	2022/12/01	5.1
GLU	2022/12/01	212	CRE	2022/12/01	0.98
HbA1c	2022/12/01	7.5	eGFR	2022/12/01	42.0
ALB	2022/10/18	3.4	Na	2022/12/01	140.3
T-Bil	2022/12/01	0.83	K	2022/12/01	3.44
AST	2022/12/01	16	Ca	2022/12/01	8.4
ALT	2022/12/01	22	γ-GTP		
ALP			PT-INR		

検査値等がここに
表示されます

保険調剤薬局では、検査値を参考にすることで

- ・お薬の量が体の調子にあっているのか？
- ・お薬による副作用の初期症状はないか？

など、薬物治療を安全に行うために活用されます。

検査値は大切な情報ですので、保険調剤薬局に提出することをお勧めします。

＊なお、提出することを望まない場合は、右半分を切り取って処方せんのみ提出することも可能です。

＊表示する検査値は、一番最近に測定された測定値1回分です。
(長期間測定がない場合は空欄となります)



＜正面玄関の開場時間の変更について＞

令和5年4月1日から、防犯対策ならびに感染症予防対策徹底のため、**正面玄関の開場時間が8時15分に変更**となります。ご来院の際は、開場時間まで病院内に入ることができませんのでご注意くださいようお願いいたします。なお、受付時間は8時15分からで変更ございません。ご不便をおかけしますが、ご理解の程何卒よろしくお願いいたします。